



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 大日精化工業株式会社
 コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 推進機構担当 (氏名) 榊原 俊哉
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3662-7128

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	82,426	6.1	6,980	25.0	7,548	37.5	5,247	12.0
29年3月期第2四半期	77,668	△3.0	5,586	7.3	5,490	△0.9	4,685	14.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6,725百万円 (138.1%) 29年3月期第2四半期 2,824百万円 (△32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	282.59	—
29年3月期第2四半期	252.35	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	197,322	94,367	46.8
29年3月期	188,248	88,439	45.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 92,353百万円 29年3月期 86,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	8.00	15.50
30年3月期	—	8.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	42.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は8.5円となり、1株当たり年間配当金は17円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	4.3	13,500	12.7	14,300	17.2	10,000	0.5	538.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	18,613,110 株	29年3月期	18,613,110 株
② 期末自己株式数	45,875 株	29年3月期	45,028 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	18,567,732 株	29年3月期2Q	18,565,531 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第114期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 8円50銭(注1) 期末 8円50銭(注2)

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 107円72銭

(注1)第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2)株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3)平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は17円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、輸出は横ばいとなっている一方、堅調な雇用・所得情勢を受けて個人消費は緩やかに回復しました。海外経済におきましては、米国・欧州は緩やかな景気拡大が続き、アジア新興国地域は、昨年後半以降の中国経済の回復など総じて回復基調が継続しました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主に国内における化学品及び化成系セグメントの売上が好調であったことから824億2千6百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は69億8千万円（同25.0%増）となりました。経常利益は前年同期と比較して為替差損益が改善したことから75億4千8百万円（同37.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億4千7百万円（同12.0%増）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成系事業)

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行っております。情報記録関連の製品は一部得意先向けを除き概ね好調に推移しました。また、汎用顔料は全般的に堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は128億3千2百万円（同5.3%増）となり、営業利益は20億3千2百万円（同32.0%増）となりました。

(化学品事業)

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行っております。車両業界向けは受託コンパウンド及び海外向けの着色剤が好調に推移し、情報電子業界向けのコート材製品は堅調に推移しました。海外連結子会社においては華南地区のコンパウンド事業の業績が改善しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は451億2千1百万円（同9.3%増）となり、営業利益は34億5千2百万円（同32.5%増）となりました。

(高分子事業)

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行っております。車両業界向けの内装用材料は、一部海外向けを除き国内向けを中心に堅調に推移しました。海外連結子会社においては中国・アメリカの事業拠点の業績が堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は94億3千3百万円（同3.7%増）となり、営業利益は22億4千万円（同2.5%増）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは一般包材向けのパッケージ関連及び情報電子関連など総じて堅調に推移しました。一方、オフセットインキは需要減少が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は143億6千8百万円（同0.3%減）となりましたが、営業利益は18億4千万円（同6.5%増）となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。当セグメントの売上高は6億7千万円（同1.6%減）となり、営業損失は1億4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,973億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ90億7千4百万円増加いたしました。流動資産は、「受取手形及び売掛金」が40億6千6百万円増加したことなどにより51億5百万円増加いたしました。固定資産は「投資有価証券」が25億9千8百万円増加したことなどにより39億6千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は1,029億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ31億4千6百万円増加いたしました。これは、「支払手形及び買掛金」が52億9百万円増加した一方で、借入金が15億2千5百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は943億6千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ59億2千8百万円増加いたしました。これは、「利益剰余金」が45億4百万円増加したこと及び「その他有価証券評価差額金」が17億9千万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、平成30年3月期の業績予想を修正しました。

通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	161,000	11,000	11,300	8,300	447円00銭
今回修正予想（B）	164,000	13,500	14,300	10,000	538円58銭
増減額（B－A）	3,000	2,500	3,000	1,700	—
増減率（％）	1.9	22.7	26.5	20.5	—
（参考）前期実績 （平成29年3月期）	157,185	11,982	12,204	9,950	535円98銭

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,514	32,750
受取手形及び売掛金	48,724	52,790
たな卸資産	25,389	26,100
その他	3,105	3,203
貸倒引当金	△52	△57
流動資産合計	109,681	114,787
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,534	18,537
その他(純額)	25,733	26,530
有形固定資産合計	44,267	45,068
無形固定資産		
その他	1,950	2,567
無形固定資産合計	1,950	2,567
投資その他の資産		
投資有価証券	22,429	25,027
退職給付に係る資産	6,622	6,740
その他	3,328	3,166
貸倒引当金	△32	△35
投資その他の資産合計	32,347	34,899
固定資産合計	78,566	82,535
資産合計	188,248	197,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,418	32,627
短期借入金	15,451	15,404
1年内返済予定の長期借入金	11,121	8,863
未払法人税等	2,072	2,008
賞与引当金	2,166	2,275
環境対策引当金	158	82
固定資産解体費用等引当金	291	160
その他	5,869	4,644
流動負債合計	64,550	66,066
固定負債		
長期借入金	17,847	18,626
役員退職慰労引当金	189	180
環境対策引当金	5,123	5,138
退職給付に係る負債	8,932	9,098
その他	3,165	3,843
固定負債合計	35,258	36,888
負債合計	99,808	102,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	59,450	63,954
自己株式	△98	△102
株主資本合計	79,164	83,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,812	10,602
繰延ヘッジ損益	3	△15
為替換算調整勘定	△732	△1,030
退職給付に係る調整累計額	△892	△867
その他の包括利益累計額合計	7,190	8,688
非支配株主持分	2,083	2,013
純資産合計	88,439	94,367
負債純資産合計	188,248	197,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	77,668	82,426
売上原価	63,239	66,554
売上総利益	14,428	15,872
販売費及び一般管理費	8,842	8,891
営業利益	5,586	6,980
営業外収益		
受取利息	33	44
受取配当金	152	180
持分法による投資利益	133	114
為替差益	—	56
保険配当金	207	212
その他	232	237
営業外収益合計	759	846
営業外費用		
支払利息	257	218
為替差損	539	—
その他	58	59
営業外費用合計	855	278
経常利益	5,490	7,548
特別利益		
固定資産売却益	884	9
事業譲渡益	400	—
会員権売却益	0	3
その他	7	—
特別利益合計	1,291	13
特別損失		
減損損失	392	—
固定資産除却損	35	77
固定資産解体費用等引当金繰入額	301	—
環境対策費	31	71
その他	177	19
特別損失合計	937	167
税金等調整前四半期純利益	5,844	7,394
法人税、住民税及び事業税	1,421	1,939
法人税等調整額	△283	185
法人税等合計	1,138	2,124
四半期純利益	4,706	5,269
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,685	5,247

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	4,706	5,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,325	1,789
繰延ヘッジ損益	△6	△19
為替換算調整勘定	△3,104	△391
退職給付に係る調整額	200	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△297	51
その他の包括利益合計	△1,882	1,455
四半期包括利益	2,824	6,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,091	6,744
非支配株主に係る四半期包括利益	△267	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法につきましては、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

これは、当社及び国内連結子会社において、今後の設備投資計画より生産設備の使用実態を見直した結果、長期的かつ安定的な稼働と収益獲得が見込まれることから耐用年数にわたり均等償却を行うことがより合理的な費用配分であると判断したため、また、定額法を採用する海外連結子会社との会計処理方法の統一を図るために、変更いたしました。

この結果、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ94百万円増加しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2, 3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,187	41,287	9,094	14,416	681	77,668	—	77,668
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	213	17	42	3	7,758	8,035	(8,035)	—
計	12,401	41,305	9,137	14,419	8,439	85,703	(8,035)	77,668
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,539	2,604	2,186	1,727	△76	7,981	(2,395)	5,586

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの業務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては392百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2, 3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,832	45,121	9,433	14,368	670	82,426	—	82,426
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	254	19	61	4	8,411	8,751	(8,751)	—
計	13,086	45,140	9,495	14,372	9,082	91,178	(8,751)	82,426
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,032	3,452	2,240	1,840	△104	9,460	(2,480)	6,980

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役員提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,480百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法につきましては、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「化成品事業」で22百万円、「化学品事業」で36百万円、「高分子事業」で9百万円、「印刷総合システム事業」で8百万円、「その他事業」で15百万円、それぞれ増加しております。